

社民党多摩支部事務所

〒206-0033

東京都多摩市落合3-1-3-103

TEL/FAX 042(376)4886

THE SHAKAI SHIMPO

社会新報



号外 2021◆5.31

発行所
社民党全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル7F
電話代表 03(3592)7515・振替 00140-1-3203
●定価180円●1ヵ月700円●送料160円

多摩市議

伊地智きょうこ

いぢち恭子の

多摩市議会レポート No.24

●3月議会特集 ●2021.5.31発行

コミック・レポート
「タンバリン通信」スペシャル
コロナ災害に立ち向かう!
当初予算案 可決



「コロナ禍」2年目 ワクチン接種はじまりました

【市民の疑問や不安に応えます】

新型コロナウイルス感染症を克服すべく、日本でもワクチン接種が本格稼働となりました。国の指導を受け、本市でも医療従事者に次いで高齢者施設の入所者と職員、更に65歳以上の市民に対して優先接種が始められています。

対象者には接種券が配布されますが、予約の手順などさまざまな疑問や困りごとが想定されます。専用コールセンター(裏表紙参照)をぜひご活用ください。

【受ける自由 受けない自由】

ワクチンは病気と闘う重要な“武器”ではありますが、接種はあくまで任意です。特に現在の「対コロナ」ワクチンは短期間に開発されたため、治験が不十分ではないかと不安視する声が少なくなく、海外では深刻な副反応の報告もあります。

ワクチン接種の有無で差別や迫害を受けることのないよう、私たちの会派は行政に適切な発信を求めました。あくまで「受けたい人が受ける」ものとして、社会の理解が進むことを望みます。

【変異し続けるウイルス 引き続き予防と警戒を】

また、コロナウイルスの変異株が既に何種類も見つかっています。これらの中には既成のワクチンが効かないものがありますし、今後も変異を止めることは不可能ですから、その意味でもワクチンの効力には限界があります。

接種の状況にかかわらず、私たちはまだまだコロナ災害に対する警戒を解くことができません。引き続き密を避け、検温・消毒・検査といった従来の感染抑止対策を徹底していきましょう。



多摩市議会議員(社民党)
いぢち恭子
伊地智 きょうこ

※4月24日『コロナ災害を乗り越える
いのちとくらしを守るなんでも電話相談会』にて

《多摩市のワクチン接種体制》

- ・ 関戸公民館(聖蹟桜ヶ丘駅前)
- ・ 永山公民館(永山駅前)
- ・ リンクフォレスト(多摩センター駅前)

- 市内の医療機関の準備が整い次第、個別に接種を受けられるよう整備します。
- 多摩市では施設などへの巡回接種及び上記の集団接種・個別接種方式を組み合わせ、市民の多様なニーズへの対応を計画しています。



うちの
アマビエ様

多くの質疑で「コロナ」が焦点に

好評・タンパリン通信
スペシャル編です!

「コロナ」と共にある市政運営とは 一般質問

◆【一般質問】コロナ禍を経て考える「公助」と「共助」

私の質問テーマは今回も「コロナ」。増加する困窮者の支え手について考えました。

「自助・公助・共助」という言い方をよく聞きます。しかしコロナ禍という自然災害を前に、自己責任による努力は限界があります。多摩市はどのように考えているのでしょうか？

■非常時の公務を誰がになうのか

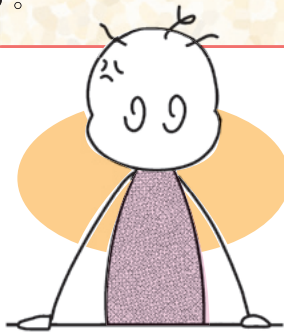
コロナ災害が猛威をふるった昨年、他自治体では「いきなり休業にされた」「正職員が休む間に感染リスクの高い仕事をした」など、悲鳴に近い非正規公務員の声が多く上がりました。

現場も含めて調査したところ、多摩市ではそうした扱いはなく、時間数が減った場合は翌月で差が解消されるよう配慮されたということです。

非正規職の不安定な働き方自体も問題ですが、もうひとつ考えなくてはならないのは、そうした職員たちが多くの公共サービスを支えているという現在の構造です。

今回確認したところ、非正規職には災害時等のサービスの義務はないとのこと。それで、非常時の公務をきちんと回すことができるのでしょうか。

この問題はかなり根が深いので、次の議会でも質問を考えています。

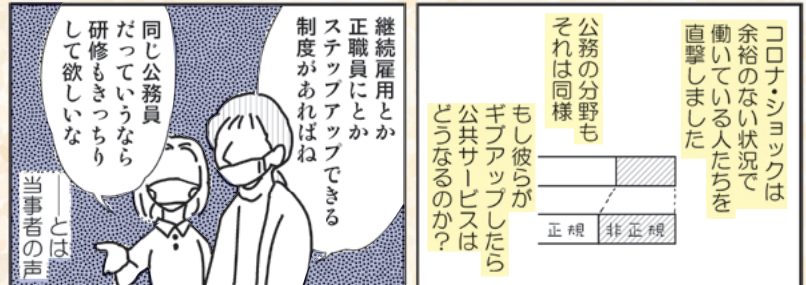
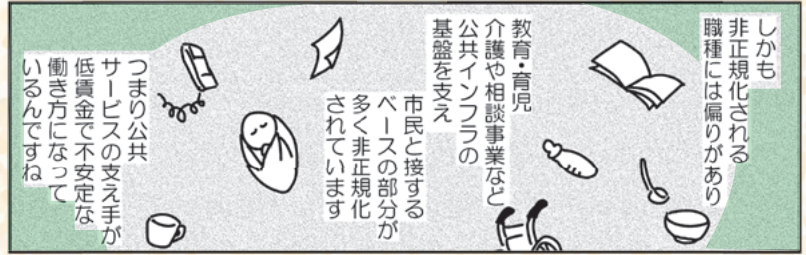


◆非正規公務員の処遇と働き方

もともと公務員の制度内に、非正規職は想定されていませんでした。主に経済的な事情から《官》の世界にもさまざまな非正規職が導入され、現状を後追する形で《会計年度任用職員制度》が定められたのです。

1年(会計年度)ごとに雇用契約を結ぶという働き方で、ある程度の継続就労はできますが、ほとんどが低所得かつ不安定な処遇となります。

仕事内容は多くの場合継続的なもので、識者から制度矛盾が指摘されています。



■多摩市の中の地縁やつながり

さて続いて「共助」の問題です。コロナ対策として作られたものではありませんが、私が注目しているのは市の「地域委員会構想」です。

「委員会」と聞くと堅苦しい運営組織をつくるのかと思ってしまうますが、めざしているのはむしろ地域共同体の活性化のようです。たとえば今年度は民生児童委員の数がかなり減っており、住民同士をつなぐキーパーソンの確保は、市の未来づくりにかかわる急務とも言えるでしょう。

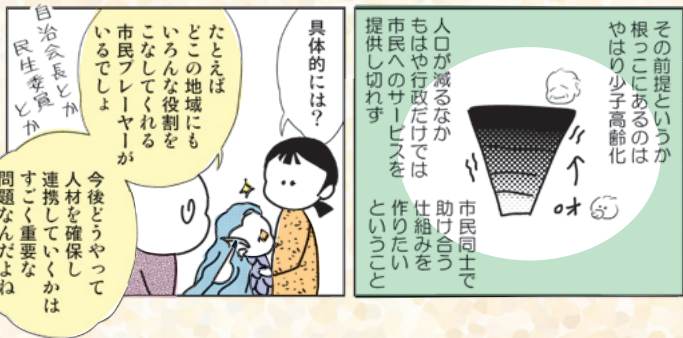
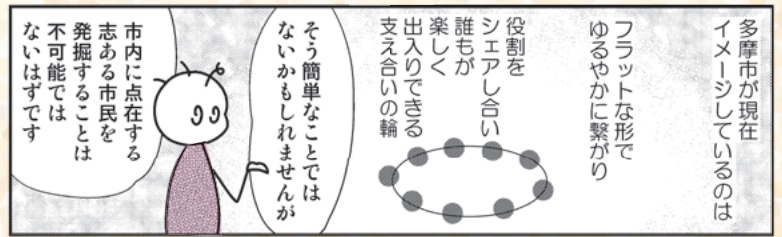
3月定例会トピックス

■新たな「地縁」をつくれるか

前号でも申し上げましたが、市内には「誰かの役に立ちたい」という人材が潜在しています。鍵は、そうした人たちを結ぶ「場」づくりです。

コロナが推進したテレワークには意外な副産物がありました。それは、現役世代が地元で過ごす時間が増えたことです。彼らの「地元再発見」のまなざしを、皆で支え合う共助の輪の中へ向けることができれば、それは自治体にとって大きな力となるでしょう。

地域委員会構想のもう一つのポイントは、市民と行政の間をどうつなぐかということです。実効力のある取り組みとなるよう、これからも注視していきます。



◆【予算特別委員会】コロナ関連が次々と

2021年度の当初予算案に対して行った質疑の中から、2つをピックアップしてご報告します。

●TAMA女性センター運営経費

女性専用の相談窓口に、コロナの影響が見られるかどうか質問しました。数の増加はさほどでないものの、精神的DVや在宅ワークによる生活変化についての相談がみられるとのことでした。問題をかかえた家庭がコロナ禍でどのように過ごしているかは、この間の大きな気がかりのひとつです。

虐待やDVは、被害者の側が明確な自覚を欠いているケースもあります。ネット発信を含め、わかりやすい事例の掲示などで理解を進めるとともに、集まった相談を分析し市政に活かす努力を求めました。



●学校情報環境整備事業

政府のGIGAスクール構想にもとづき、2021年度から全小中学校で「1人1台タブレット」となります。今回は無線LAN環境について質問しました。

電磁波の人体への影響を考慮し、欧州では学校にもっぱら有線LANを推奨しています。私たちの会派は一貫して「電磁波過敏症を発症させないよう、せめて不使用時は電源を切って欲しい」と主張してきました。

所管の答弁は「児童が発症した場合は対応する」というものです。配慮はあれど、未来ある子どもたちに対してまず予防原則に立つ、という姿勢が見られない点は納得できません。今後も要望を続けていきます。

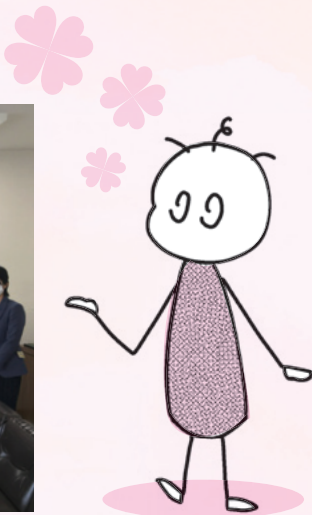


◆「女性の健康応援隊」動く

「食べ物を買うか生理用品を買うか」——“生理の貧困”問題に苦しむ女性たちへの支援に向け、多摩市議会の女性議員が一丸となって動きました。会派・理念の違いを超えた要望に、市長も即断。翌日には「まず全小中学校に生理用品を配置する」との報告を受けました。

市民に一番近い自治体議員として、手ごたえとともに更なる努力が必要なのだ実感しました。

▼3月16日市長・教育長へ申し入れ



<< 社会民主党からの報告 >>

東京都連合では3月の定期総会で執行体制の更新を行いました。また、全国連合でもジェンダー平等を含む組織改編がめざされた結果、私が下記の役割に就くこととなりました。

★東京都連合 幹事長

★全国連合 常任幹事

あくまで地元の仕事が第一ですが、国政と自治体をつなぐ情報共有と意見交換は有意義だと思っています。

これまで以上に頑張りますので、よろしくお祈りします！



いちぢ恭子は、多摩・生活者ネットワークの岩崎みなこ、岸田めぐみと3名で、会派「ネット・社民の会」を結成しています。



コロナ対策で、市の状況や対応は刻々と変わる可能性があります。市HPなどもご確認の上、質問や相談がありましたら右記までお願いします。

★市HP上部「各課の窓口」からメール送信も可能です。もちろん、私いちぢ恭子をはじめ(連絡先は本ページの右下参照)、各議員にも遠慮なくお問い合わせください！



多摩市の新型コロナほか
暮らしのご相談
はこちらへ！

多摩市役所(代表)
☎042-375-8111
(月～金 8:30～17:00)

多摩市新型コロナウイルス
ワクチン接種コールセンター 042-313-7003 (9～17時)

厚生労働省コールセンター 0120-761-770 (9～21時)

東京都新型コロナコールセンター 0570-550571 (9～22時)
※ 有 料

いちぢ恭子の プロフィール



- ・1962年生まれのO型おひつじ座
- ・1976年から多摩市落合在住
- ・市立豊ヶ丘中学、都立永山高校卒業
- ・和光大学入学後、現代舞踊&整体による身体表現研究に転進
- ・2015年、多摩市議会議員選挙に初当選
- ・2019年、再選(現在2期目)
- ◆総務常任委員 ◆議会だより編集委員
- ◆多摩市土地開発公社 評議員

街頭ではコミック・レポート『タンバリン通信』をお配りしています。タンバリン通信バックナンバー掲載中!



公式ブログ『キョーコ式ランドスケープ』
<http://kyokolandscape.blog.fc2.com/>



いちぢ恭子公式ホームページ
<https://www.ijichi-kyoko.net>

お困りごとがありましたら、お気軽に下記へご相談ください。

発行・連絡先
いちぢ恭子とまちづくりの会事務局
〒206-0033 多摩市落合 3-1-3-103
TEL&FAX / 042-376-4886
TEL&FAX(自宅) 042-400-6264
E-mail / ipanema_red@yahoo.co.jp

